

# 三菱グラフィック オペレーションターミナル テクニカルニュース

No. GOT-D-0018-G 1/25

2011年9月改訂G版  
(2008年2月初版発行)

<b>表 題</b>	GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズからGOT1000シリーズへの置換えのご案内と注意事項
------------	---

<b>適用機種</b>	GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズ
-------------	----------------------------

三菱グラフィックオペレーションターミナル(GOT)に格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

皆様にご愛顧いただいております GOT の旧シリーズであります GOT800, A77GOT, A64GOT シリーズにつきましては、既に1999年7月発行のテクニカルニュース PLC-D-358 および2001年7月発行のテクニカルニュース PLC-D-406 にて生産中止のお知らせをさせていただいております。GOT800, A77GOT, A64GOT シリーズにつきましては既に修理受付期間も終了しておりますので、機能・性能とも充実した新シリーズ GOT1000 シリーズへの置換えを是非ご検討ください。

## 目 次

1. お客様へのお願い	2
2. GOT本体の機種選択	2
2.1 A851GOTからGOT1000シリーズへの置き換えに関する注意事項	3
3. 通信ユニット・オプション	4
3.1 置換え機種一覧	4
3.2 設定方法が変更になるユニット	5
3.3 後継機種のない通信ユニット, オプション	5
3.4 MELSECNET(Ⅱ), MELSECNET/Bネットワークに接続された GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズをGOT1000シリーズへ置き換え	6
3.4.1 システム全体のネットワークをMELSECNET/Hへ変更し GOT1000シリーズへの置き換え	6
3.4.2 システム全体のネットワークを変更せず, シーケンサ-GOT間の接続形態を変更し, GOT1000シリーズへの置き換え	6
3.5 MELSECNET/10(PC間光ループ/PC間同軸バス)ネットワークに接続された GOT800, A77GOTシリーズをGOT1000シリーズへの置き換え	6
4. ケーブル	8
4.1 バス接続ケーブル	8
4.1.1 現在ご使用中のケーブルの活用	8
4.1.2 複数台バス接続時のGOTの交換	8
4.2 RS-232ケーブル	9
4.3 RS-422ケーブル	9
4.4 ネットワークケーブル(MELSECNET/10, CC-Link)	9
4.5 その他のケーブル	9
5. 製品取付け間隔	10
5.1 GOT800, A77GOTシリーズ	10
5.2 A64GOTシリーズ	10
6. ケーブルの引き出し方向, PC(CF)カード装着方向	11
6.1 ケーブルの引き出し方向および位置	11
6.2 CFカード装着方向	12
7. モニタ画面データ	14
7.1 モニタ画面データの流用	14
7.1.1 GOT800シリーズからGOT1000シリーズへのモニタ画面データの変換方法	15
7.1.2 A77GOT→GOT1000シリーズへの変換方法	18
7.1.3 A64GOT→GOT1000シリーズへの変換方法	19
7.1.4 データ変換に際しての注意事項	19
7.1.5 データ転送ツールとGOT800の通信で使用可能なUSBシリアルアダプタ	19
7.2 モニタ画面データの互換性	20
7.2.1 データ互換一覧	20
7.2.2 GOT800シリーズとGOT1000シリーズのモニタ画面データの互換性	22
7.2.3 A77GOT, A64GOTシリーズとGOT1000シリーズのモニタ画面データの互換性	23
7.3 新たに設定が必要となる機能	24
7.3.1 プリンタ	24

## 1. お客様へのお願い

GOT本体の機種選択一覧では、各シリーズからGOT1000シリーズへの置換え時に、仕様上の制約がない、または少ない機種を推奨機種としております。お客様のシステムでのご使用状況によっては、推奨機種以外の選択も可能となる場合もありますので、既存システムの仕様をご確認いただいた上で機種選択いただくようお願いいたします。

## 2. GOT本体の機種選択

置換えするGOT本体の機種選定を行います。

各シリーズからGOT1000シリーズに置き換える場合、パネルカット寸法が異なりますので、アタッチメントを使用してください。また、一部の機種では、対応するアタッチメントが存在していません。以下にGOT1000シリーズへの置換え推奨機種(本体)とパネルカット互換性一覧を示します。

表2-1 GOT1000シリーズへの置換え推奨機種(本体)とパネルカットの互換性一覧

使用している GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズ		移行を推奨する GOT1000シリーズ (*7)	パネルカット 互換性 ○：互換有 ×：互換無	使用する アタッチメント	
A870GOT	A870GOT-EWS	GT1662-VNBA (*10)	×	GT15-60ATT-87	
		GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-87	
	A870GOT-SWS	GT1675-VNBA (*10)	×	GT15-70ATT-87	
		GT1575-VNBA	×	GT15-70ATT-87	
	A870GOT-TWS	GT1675M-VTBA	×	GT15-70ATT-87	
		GT1575-VTBA	×	GT15-70ATT-87	
	A8GT-70GOT-EW, A8GT-70GOT-EB	A8GT-PWEL使用時	GT1662-VNBA (*10)	×	GT15-60ATT-87
			GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-87
		A8GT-PW24使用時	GT1662-VNBD (*10)	×	GT15-60ATT-87
			GT1562-VNBD	×	GT15-60ATT-87
	A8GT-70GOT-SW, A8GT-70GOT-SB	A8GT-PWST使用時	GT1675-VNBA (*10)	×	GT15-70ATT-87
			GT1575-VNBA	×	GT15-70ATT-87
A8GT-PW24使用時		GT1675-VNBD (*10)	×	GT15-70ATT-87	
		GT1575-VNBD	×	GT15-70ATT-87	
A8GT-70GOT-TW, A8GT-70GOT-TB	A8GT-PWTF使用時	GT1675M-VTBA	×	GT15-70ATT-87	
		GT1575-VTBA	×	GT15-70ATT-87	
	A8GT-PW24使用時	GT1675M-VTBD	×	GT15-70ATT-87	
		GT1575-VTBD	×	GT15-70ATT-87	
A810GOT	A810GOT-CS	GT1675M-STBA (*1)	×	なし	
		GT1575V-STBA (*1)	×	なし	
	A8GT-10GOT-C	A8GT-PWTF使用時	GT1675M-STBA (*1)	×	なし
			GT1575V-STBA (*1)	×	なし
		A8GT-PW24使用時	GT1675M-STBD (*1)	×	なし
			GT1575V-STBD (*1)	×	なし
A850GOT	A850GOT-LWD (-M3), A850GOT-LBD (-M3)	RS-422接続時	×	GT15-50ATT-85	
		通信ユニット使用時	×	GT15-50ATT-85	
	A850GOT-SWD (-M3), A850GOT-SBD (-M3)	RS-422接続時	×	GT15-50ATT-85	
		通信ユニット使用時	×	GT15-50ATT-85	
A851GOT	A851GOT-LWD (-M3), A851GOT-LBD (-M3) (*8)	GT1550-QLBD (*3)	×	GT15-50ATT-85	
	A851GOT-SWD (-M3), A851GOT-SBD (-M3) (*8)	GT1555-QSBD (*3)	×	GT15-50ATT-85	
A852GOT	A852GOT-LWD (-M3), A852GOT-LBD (-M3)	GT1550-QLBD (*4)	×	GT15-50ATT-85	
	A852GOT-SWD (-M3), A852GOT-SBD (-M3)	GT1555-QSBD (*4)	×	GT15-50ATT-85	
A853GOT	A853GOT-LWD (-M3), A853GOT-LBD (-M3)	GT1550-QLBD (*5)	×	GT15-50ATT-85	
	A853GOT-SWD (-M3), A853GOT-SBD (-M3)	GT1555-QSBD (*5)	×	GT15-50ATT-85	
A77GOT	A77GOT-CL, A77GOT-CL-S3, A77GOT-CL-S5	GT1662-VNBA (*10)	×	GT15-60ATT-77	
		GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-77	
	A77GOT-EL, A77GOT-EL-S3, A77GOT-EL-S5	GT1662-VNBA (*10)	×	GT15-60ATT-87	
		GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-87	
A77GOT-L, A77GOT-L-S3, A77GOT-L-S5	GT1662-VNBA (*10)	×	GT15-60ATT-77		
	GT1562-VNBA	×	GT15-60ATT-77		
A64GOT	A64GOT-L (*2)	GT1550-QLBD	×	なし	
	A64GOT-LT21B (*2, *6)	GT1550-QLBD	×	なし	

\*1 A810GOTはCRT等表示機器出力専用GOTです。GOT1000シリーズにはCRT等への表示器機出力専用GOTはありません。GOT1000シリーズへの置換え時は、ビデオ/RGB対応のGOT1000シリーズを使用し、RGB出力ユニットを接続して、ご使用ください。

ビデオ/RGB対応のGOT1000シリーズ	GOT1000シリーズ用RGB出力ユニット
GT1675M-VTBA GT1675M-VTBD GT1675M-STBA GT1675M-STBD	GT16M-ROUT
GT1575V-STBA GT1575V-STBD	GT15V-75ROUT

- \*2 置換え時には、RS-422シリアル通信ユニット(GT15-RS4-9S)を接続し、ご使用ください。
- \*3 置換え時には、Aバス接続ユニット(GT15-ABUS(2)またはGT15-75ABUS(2)L)を接続し、ご使用ください。
- \*4 置換え時には、CC-Link通信ユニット(GT15-J61BT13)を接続し、ご使用ください。
- \*5 置換え時には、表示器本体のRS-232ポートで通信いただくか、RS-232シリアル通信ユニット(GT15-RS2-9P)をご使用ください。
- \*6 GOT1000シリーズはMELSECNET/Bに対応しておりません。3.4節を参照ください。
- \*7 GOT1000シリーズは、前面部の色がすべてブラックです。前面部の色がアイボリー・ホワイトの機種はありませんので、ご了承ください。
- \*8 置換え機種には、GT11バス接続専用機もあります。詳細は、2.1節を参照してください。
- \*9 Aバス接続時は、Aバス接続ユニット(GT15-ABUS(2)またはGT15-75ABUS(2)L)を接続し、ご使用ください。また、MELSECNET系通信ユニット接続時は3.1節を参照し、通信ユニットを選定してください。
- \*10 作画ソフトウェアGT Designer2 Version□は対応していません。GT Works3 Version1(Ver1.15R以降)をご使用ください。

## 2.1 A851GOTからGOT1000シリーズへの置き換えに関する注意事項

A851GOTからGOT1000シリーズへの置き換えの場合、下記のGOT1000シリーズのバス専用機(GT11バス接続専用機(GT1155-Q□BDA, GT1150-Q□BDA))へ置き換えを推奨します。

表2-2 GOT11バス接続専用機(GT1150-QLBDA, GT1155-QSBDA)への置換え時、推奨置換え機種一覧表

使用しているGOT800シリーズ	表2-3記載の機能制限付で置換えを推奨するGT11バス接続専用機	備考
A851GOT-LWD	GT1150-QLBDA	5.7型STNモノクロ Aバス接続
A851GOT-LWD-M3	GT1150-QLBDA	5.7型STNモノクロ Aバス接続
A851GOT-LBD	GT1150-QLBDA	5.7型STNモノクロ Aバス接続
A851GOT-LBD-M3	GT1150-QLBDA	5.7型STNモノクロ Aバス接続
A851GOT-SWD	GT1155-QSBDA	5.7型STNカラー Aバス接続
A851GOT-SWD-M3	GT1155-QSBDA	5.7型STNカラー Aバス接続
A851GOT-SBD	GT1155-QSBDA	5.7型STNカラー Aバス接続
A851GOT-SBD-M3	GT1155-QSBDA	5.7型STNカラー Aバス接続

ただし、GT11バス接続専用機では下記の機能に対応していないため、下記の機能を使用する場合はGT155□(+通信ユニット)への置き換えを推奨します。

表2-3 GOT11バス接続専用機(GT1150-QLBDA, GT1155-QSBDA)で制限される機能一覧表

項目	機能概略	GT11バス接続専用機での対応	代替案
局番切換え	オブジェクトのモニタ先のネットワークユニット局番を切り換える機能	対応不可	GT155□採用をご検討ください。
モニタできるアクセス範囲	GOTがモニタできるアクセス範囲	自局(0-FF)のみモニタ可能	GT155□採用をご検討ください。
印字関連機能	レポート機能、コメント印字、ハードコピー等印字に関する機能	対応不可 (プリンタが接続不可)	GT155□採用をご検討ください。
外部入出力機能 (操作パネル)	操作パネル、テンキーパネル、押しボタンスイッチ等外部の入出力機器を接続する機能	対応不可	GT155□採用をご検討ください。
かな漢字変換機能	アスキー入力時ひらがなを漢字に変換する機能	対応不可	GT155□採用をご検討ください。
複数台接続	GOT複数台接続時	対応不可	GT155□採用をご検討ください。

### 3. 通信ユニット・オプション

#### 3.1 置換え機種一覧

各シリーズの通信ユニット、オプションはGOT1000シリーズでは使用することはできません。GOT1000シリーズへの置換え時はGOT1000シリーズ用のユニットをご使用ください。

表3-1 通信ユニット・オプション置換え機種一覧

通信方式/オプション	GOT800, A77GOT用 ユニット形名	GOT1000用 ユニット形名	ケーブル互換性 (詳細は4章参照)	備考	
Aバス接続	A7GT-BUSS (小型CON) (*11)	GT15-75ABUSL	互換性あり	薄型モデル(*13)	
		GT15-ABUS	互換性あり	-	
	A7GT-BUS (大型CON) (*11)	GT15-75ABUSL	異なる	異なる	薄型モデル(*13)
		GT15-ABUS	異なる	異なる	-
	A7GT-BUS2S (小型CON) (*11)	GT15-75ABUS2L	互換性あり	互換性あり	薄型モデル(*13)
		GT15-ABUS2	互換性あり	互換性あり	-
A7GT-BUS2 (大型CON) (*11)	GT15-75ABUS2L	異なる	異なる	薄型モデル(*13)	
	GT15-ABUS2	異なる	異なる	-	
RS-232接続	A8GT-RS2	GT15-RS2-9P	互換性あり	-	
		GOT本体内蔵インタフェース(*14)	互換性あり	-	
RS-422接続	A8GT-RS4	GT15-RS4-9S	異なる	9ピンコネクタタイプ	
		GT15-RS2T4-9P	異なる	9ピンコネクタタイプ ※GOT本体内蔵インタフェース(*14)に接続して使用可	
		GT16-C02R4-9S	異なる	9ピンコネクタタイプ ※GT16のみ使用可	
MELSECNET/10	A7GT-J71LP23 (*11)	GT15-J71LP23-25	互換性あり	MELSECNET/H ユニットの MELSECNET/10モードで使用 ※3.4節を参照	
	A7GT-J71BR13 (*11)	GT15-J71BR13	互換性あり		
MELSECNET (II)	A7GT-J71AP23 (*11)	GT15-J71LP23-25	互換性あり	ネットワークの変更が必要 ※3.3節, 3.4節を参照	
	A7GT-J71AR23 (*11)	GT15-J71BR13	互換性あり		
MELSECNET/B	A7GT-J71AT23B (*11)	GT15-J71LP23-25	異なる		
		GT15-J71BR13	異なる		
CC-Link	A8GT-J61BT13 (*11)	GT15-J61BT13	互換性あり	CC-Link ver.2ユニットに変更が必要	
	A8GT-J61BT15 (*11)			CC-Link ver.2ユニットに変更が必要 ※3.3節を参照	
外部入出力インタフェース	A8GT-70KBF	GT15-DIO(*12)		-	
	A8GT-50KBF				
テンキーパネル	A8GT-TK	該当なし	-	3.3節を参照	
	A7GT-TK	該当なし	-	3.3節を参照	
プリンタインタフェース	A8GT-70PRF	GT15-PRN	異なる	PictBridge対応プリンタ(*15)	
		GT15-RS2-9P	異なる	シリアルプリンタ(*15)	
		GOT本体内蔵インタフェース(*14)	異なる		
	A8GT-50PRF	GT15-PRN	異なる	PictBridge対応プリンタ(*15)	
		GT15-RS2-9P	異なる	シリアルプリンタ(*15)	
		GOT本体内蔵インタフェース(*14)	異なる		
メモリカードインタフェース	A7GT-MIF	GOT本体内蔵CFカードインタフェース	-	GOT本体にCFカードインタフェースを標準装備 メモリカード(SRAM)は使用不可	
メモリカード	Q1MEM-64/128/256/512/1M/2MS	GT05-MEM-□MC GT05-MEM-□GC	-	GOT1000シリーズではSRAMカード 使用不可 CFカードへ切替要	

\*11 GOT800シリーズ、A77GOTシリーズ用通信ユニットにはロータリスイッチ等のハードウェアでの設定スイッチが付いています。GOT1000シリーズ用通信ユニットにはロータリスイッチ等はなくソフトウェアでの設定スイッチのため、作画ソフトウェアまたはユーティリティ画面で設定します。詳細内容は、Aバス接続ユニットは3.2節、MELSECNET/10ユニットは3.4.2項(2)、MELSECNET (II)およびMELSECNET/Bの各ユニットは、3.4.2(1)項を参照ください。

\*12 外部電源電圧/外部接続コネクタ形状等の仕様が変更になります。詳細は、外部入出力ユニット(GT15-DIO)取扱説明書(IB-0800334)を参照ください。

\*13 外部入出力、音声、プリンタ、ビデオ/RGB入出力機能などのユニットと併用する場合、次のユニットをご使

用ください。薄型モデルは、他のユニットとの組み合わせに制限があります。

GT15-ABUS (Aバス接続1ch), GT15-ABUS2 (Aバス接続2ch)

\*14 モニタ画面データなどをパソコンから本体内蔵RS-232インタフェースを使用してGOT本体にダウンロードする場合、ケーブルの差し替えが必要になります。

ケーブルを差し替えずに使用したい場合、GT15-RS4-9Sをご使用ください。

但し、次の1点の検討事項が発生します。

① 通信ユニット取り付け状態でのGOTの厚み(6章のE寸法)が、13mm増加。

\*15 プリントインタフェースユニットがセントロニクス準拠(A8GT-70PRF, -50PRF)からUSBインタフェース(GT15-PRN)またはRS-232インタフェース(GT15-RS2-9PまたはGOT本体内蔵インタフェース)へ変更になりますので、プリンタ機種の変更をお願いします。GOT1000シリーズで対応しているプリンタ機種(動作確認機種)は、MELFANSwebのテクニカルニュース GOT-D-0001「GOT1000シリーズ動作確認機器一覧」を参照してください。

### 3.2 設定方法が変更になるユニット

下記一覧に記載したGOT800シリーズ、A77GOTシリーズの通信ユニットは、ロータリスイッチ等ハードウェアでの設定が必要ですが、GOT1000シリーズの通信ユニットにはロータリスイッチ等はなく、作画ソフトウェアまたはユーティリティ画面での設定となっておりますので、置換えの際には、下記の設定手段にて設定いただきますようお願いいたします。

表3-2 設定方法が変更になるユニット及び変更後の設定手段一覧

GOT800シリーズ、A77GOTシリーズ通信ユニット			GOT1000シリーズ通信ユニット	
品名	型名	ハードウェアによる設定項目	型名	設定手段
バス接続ユニット	A7GT-BUS	(1) I/Oスロットスイッチ	GT15-75ABUS (2)L GT15-ABUS (2)	作画ソフト (GT Designer2 等) または、GOT本体のユーティリティ画面にて設定をお願いします。
	A7GT-BUS2	(2) 増設段数スイッチ		
	A7GT-BUSS			
	A7GT-BUS2S			
CC-Link接続ユニット	A8GT-J61BT13	(1) モードスイッチ： (A8GT-J61BT13のみ) オンライン/オフライン (2) 局番スイッチ：10の位、1の位 (3) ボーレート設定スイッチ： (4) 条件設定スイッチ： データリンク異常局の入力データ状態、占有局数	GT15-J61BT13	
	A8GT-J61BT15			

### 3.3 後継機種のない通信ユニット、オプション

下記一覧に記載したGOT800シリーズ、A77GOTシリーズの通信ユニット、オプションは、GOT1000シリーズに対応した代替機種はありません。GOT1000シリーズへの置き換えが困難な場合は十分な数量の予備品を確保いただくようお願いいたします。

表3-3 後継機種のない通信ユニット・オプション一覧とその代案

分類	品名	形名	代案
通信ユニット	MELSECNET (II) 通信ユニット	A7GT-J71AP23	MELSECNET/H ネットワークシステム (GOT1000 シリーズ通信ユニット GT15-J71BR13 / GT15-J71LP23-25) への変更をご検討ください。(4.4節)
		A7GT-J71AR23	
	MELSECNET/B通信ユニット	A7GT-J71AT23B	
	CC-Link(リモートデバイス局)通信ユニット	A8GT-J61BT15	CC-Link(インテリジェントデバイス局)通信ユニット(GOT1000シリーズ通信ユニット GT15-J61BT13)への置換えをご検討ください。(*16)
オプション	テンキーパネル	A8GT-TK A7GT-TK	代替機種はありません。 (*17)

\*16 ・使用局数に差があります。(リモートデバイス局：2/4局占有、インテリジェントデバイス局：1/4局占有)、シーケンサ側のCC-Link局設定(リモートデバイス局→インテリジェントデバイス局)などのパラメータ変更が必要です。

・最大接続台数が、32台から26台と減少します。26台を超える台数を接続されている場合、マスタ局を増やし対応いただきますようお願いいたします。

・リモート専用コマンド9種類(イニシャル設定コマンド、連続リードコマンド、ランダムリードコマンド、連続ライトコマンド、ランダムライトコマンド、モニタ登録コマンド、モニタ要求コマンド、常時書込み登録コマンド、常時書込み要求コマンド)には、対応していません。リモート専用コマンドをご使用の方で、ご不明点のある方は支社までご相談ください。

\*17 手持ちのA8GT-TKをGOT1000でご使用するためのケーブル(GT15-C03HTB)がありますので、三菱電機システムサービス(株) (URL <http://www.melsc.co.jp/>)にお問い合わせください。

### 3.4 MELSECNET(Ⅱ), MELSECNET/Bネットワークに接続されたGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズをGOT1000シリーズへ置き換え

GOT800シリーズ, A77GOTシリーズ, A64GOTシリーズを含むネットワークにMELSECNET(Ⅱ), MELSECNET/Bをご採用いただいている場合, 下記のいずれかの方法で, 置き換えをご検討ください。

- ・システム全体のネットワークをMELSECNET/Hへ変更しGOT1000シリーズへの置き換え
- ・システム全体のネットワークを変更せず, シーケンサ-GOT間の接続形態を変更し, GOT1000シリーズへの置き換え

#### 3.4.1 システム全体のネットワークをMELSECNET/Hへ変更しGOT1000シリーズへの置き換え

GOT1000シリーズには, 以下のMELSECNET/H通信ユニットをご使用ください。

形名	仕様
GT15-J71LP23-25	光ループユニット
GT15-J71BR13	同軸バスユニット

システム全体をMELSECNET/Hへの置き換える場合の詳細は, MELSEC-A/QnA(大型)シリーズからQシリーズへの置換えの手引き(ネットワークユニット編)(L-08047)を参照ください。

#### 3.4.2 システム全体のネットワークを変更せず, シーケンサ-GOT間の接続形態を変更し, GOT1000シリーズへの置き換え

- (1) 既存のシーケンサに空きスロットがある場合  
 シーケンサにMELSECNET(Ⅱ), MELSECNET/B, MELSECNET/10以外の通信ユニットを追加し, シーケンサ-GOT間の接続形態を変更してください。  
 GOTの接続形態を変更し, シーケンサを経由してネットワークにアクセスする例

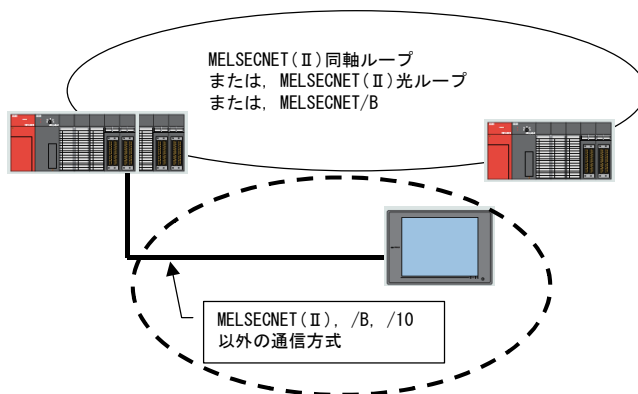


図3-1 空きスロットのあるシーケンサに通信ユニット増設し GOTとシーケンサを接続する置換え構成例

以下の2点の制約事項があります。

- GOTの接続する局により, 局番設定の変更が発生します。
  - ・マスタ局へ接続の場合, 局番をすべて「自局」(0-FF)に変更してください。
  - ・ローカル局へ接続の場合: 局番変更は必要ありません。
- サイクリックデバイスを「自局書込み」で使用している場合, GOTの書き込みエリアが使用不可となるため, 書き込みデバイスの変更と書き込みデバイス変更に伴うラダー等の変更が必要となります。

表3-4 置き換えるGOTとシーケンサ間の通信方式, 通信ユニット形名一例と接続するシーケンサー一覧表

置換え通信方式	GOTの代表通信ユニット形名	接続するシーケンサ
Aバス接続	GT15-ABUS, GT15-75ABUSL	A小型シリーズ QnA(S)シリーズ
RS-232接続	本体のRS-232ポート, GT15-RS2-9P	Qシリーズ A小型シリーズ QnA(S)シリーズ
RS-422接続	GT15-RS4-9S, GT15-RS2T4-9P	Qシリーズ A小型シリーズ QnA(S)シリーズ

- (2) 既存シーケンサに空きスロットがない場合  
 ネットワークにシーケンサを追加してください。追加したシーケンサにMELSECNET(Ⅱ), MELSECNET/B, MELSECNET/10以外の通信ユニットを追加して、シーケンサ-GOT間の接続形態を変更してください。  
 ネットワークにシーケンサを追加して、ネットワークにアクセスする例

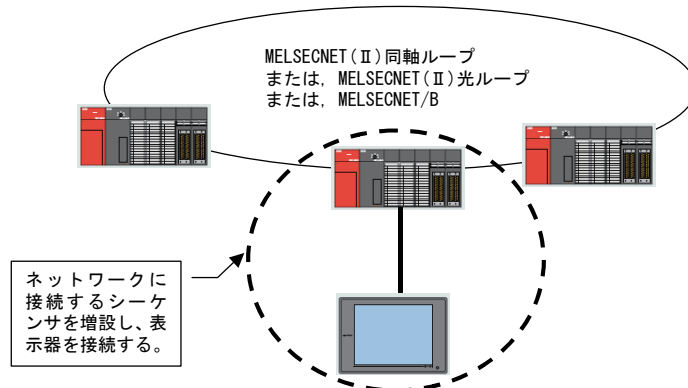


図3-2 ネットワークに接続するシーケンサを追加し  
 GOTとシーケンサを接続する置換え構成例参照

### 3.5 MELSECNET/10(PC間光ループ/PC間同軸バス)ネットワークに接続されたGOT800, A77GOTシリーズを GOT1000シリーズへの置き換え

3.4.1 項記載の MELSECNET/H 通信ユニットを使用し、MELSECNET 通信ユニットを MELSECNET/10 モードに設定のうえ、MELSECNET/10 ネットワークに接続してご使用ください。

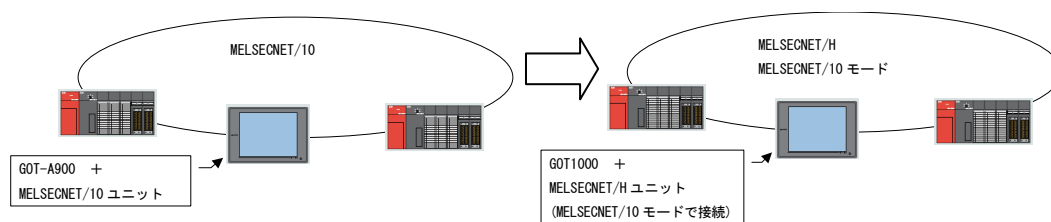


図3-3 接続するネットワークを変更する置換え構成例参照

## 4. ケーブル

### 4.1 バス接続ケーブル

#### 4.1.1 現在ご使用中のケーブルの活用

下記GOT800シリーズ、A77GOTシリーズ用バス接続ケーブルは、ケーブルの両端に専用フェライトコア(※)を取り付けることにより、GOT1000シリーズでもそのままご使用いただくことができます。

表4-1 既設GOT800シリーズ、A77GOTシリーズケーブルで活用可能なケーブル一覧

Aバス接続ケーブル品名	ケーブル形名	ケーブル長	フェライトコア形名(※)	発売時期
大型CPU増設ケーブル	A8GT-C□NB	1.2~5m	GT15-AFC	発売中
	A370C□B-S1	1.2, 2.5m		
小型CPU増設ケーブル	A1SC□(N)B	0.5~5m		
GOT間接続ケーブル	A8GT-C□EXSS(-1)	10.6~30.6m		
小型CPU長距離接続ケーブル	A8GT-C□BS	10~30m		
GOT間長距離接続ケーブル	A9GT-J2C□B	1m		

※フェライトコアは、三菱電機システムサービス(株)(URL <http://www.melsc.co.jp/>)より、ご購入ください。(GT15-AFCは、フェライトコア2個入りで、ケーブル1本分になります。)

下記、GOT800シリーズ、A77GOTシリーズケーブルは、使用できません。表の代替ケーブルにあるGOT1000シリーズ用バス接続ケーブルに置き換えてご使用ください。

表4-2 既設GOT800シリーズ、A77GOTシリーズケーブルで活用不可のケーブル一覧

Aバス接続ケーブル品名	ケーブル形名(組合せ)	ケーブル長	代替ケーブル形名	備考	
Aバス接続ケーブル	大型CPU増設ケーブル	AC□B	0.6~5m	GT15-C□NB	-
		AC□B+A7GT-CNB-BUS-1	0.6~5m+0.3m	GT15-C□NB	-
		AC□B+A7GT-CNB+A8GT-C□EXSS-1/-C□EXSS	0.6~5m+10~30.6m	GT15-AC□B+A7GT-CNB+GT15-C□EXSS-1	-
		AC□B-R	1.2~5m	GT15-C□NB	元のケーブルは、ライトアングルケーブルですが、相当品がありませんので、通常のケーブルへの置換えになります。
		AC□B-R+A7GT-CNB-BUS-1	1.2~5m+0.3m	GT15-C□NB	同上
		AC□B-R+A7GT-CNB+A8GT-C□EXSS-1/-C□EXSS	1.2~5m+10~30.6m	GT15-AC□B+A7GT-CNB+GT15-C□EXSS-1	-
		A7GT-C□EXS(-1)	10~30m	GT15-C□EXSS-1	-
		A7GT-C□B	10~30m	GT15-C□BS	-
		A370C□B	1.2~2.5m	GT15-A370C□B	-
		A370C□B+A7GT-CNB-BUS-1	1.2~2.5m+0.3m	GT15-A370C□B-S1	-
小型CPU増設ケーブル	A1SC□NB+A7GT-CNB-BUS-1	0.5~5m+0.3m	GT15-A1SC□B	-	
A0J2HCPU接続ケーブル	A0J2C04B	0.4m	GT15-J2C10B	0.4mの相当品がありませんので、1m品への置換えになります。	

#### 4.1.2 複数台バス接続時のGOTの置換え

GOT800シリーズをバス接続にて複数台接続している場合、1台のみをGOT1000シリーズに置き換えることは出来ません。全てをGOT1000シリーズに置換え必要があります。



#### 4.2 RS-232ケーブル

GOT800シリーズ用シリアル通信ユニット(RS-232)とGOT1000シリーズのシリアル通信ポート(RS-232)のコネクタは、同じタイプ(9ピンDサブ(オス)インチネジ止めタイプ)でピンアサインも同じです。

RS-232ケーブルは、そのまま流用できます。

また、GOT1000シリーズは、当社製GOT1000シリーズ用ケーブル(一部、GOT1000シリーズ接続マニュアル記載のお客様作成ケーブル)で接続できます。

#### 4.3 RS-422ケーブル

GOT800シリーズでご使用中の当社製ケーブル(AC□R4, A7GT-AC□R4)は、表示器側のコネクタがGOT1000シリーズとは異なりますので、GOT1000用ケーブルに置き換えてご使用をお願いいたします。

GOT1000シリーズには、当社製GOT1000用ケーブル(一部、GOT1000シリーズ接続マニュアル記載のお客様作成ケーブル)にて接続できます。

#### 4.4 ネットワークケーブル(MELSECNET/10, CC-Link)

各シリーズのネットワークケーブルはGOT1000シリーズでも使用することができます。

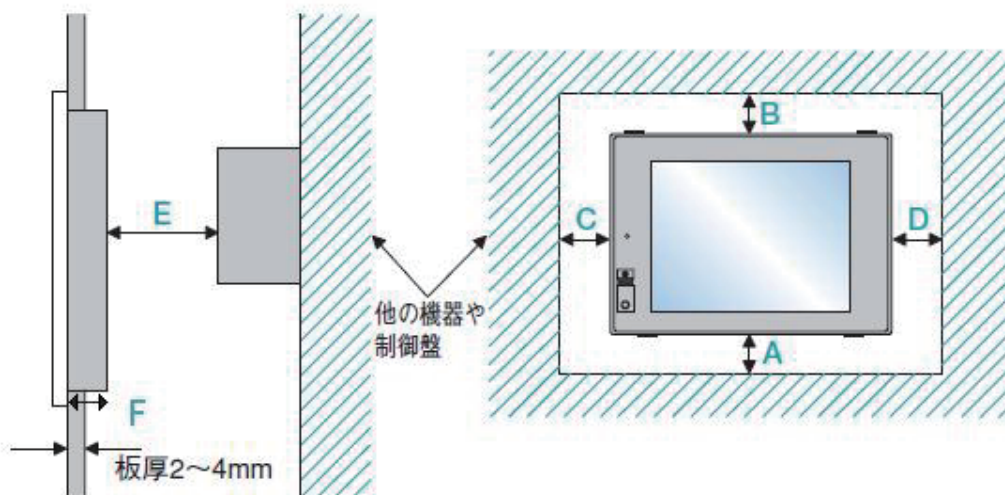
#### 4.5 その他のケーブル

表4-3 その他の既設ケーブルの対応一覧

ケーブルの種類	対応
プリンタケーブル	インタフェースが異なるため(GOT1000はUSBまたはRS-232, GOT800シリーズは、セントロニクス準拠)であり、GOT800シリーズ用のケーブルをGOT1000シリーズで使用することは出来ません。
CRT接続ケーブル	GOT800シリーズのケーブル(形名: AC□VG)は、GOT1000でも使用可能です。

## 5. 製品取付け間隔

GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズからGOT1000シリーズに置き換えた場合、製品取付け間隔がGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズより大きくなる機種、接続形態があります。以下にその注意点について記載します。  
 なお、製品取付け間隔の必要寸法についてはカタログの外形寸法の製品取付け間隔を参照してください。  
 また、GOT1000シリーズに置換え時、マルチチャンネル機能をご使用される場合、E寸法をGT15本体取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。



### 5.1 GOT800, A77GOTシリーズ

製品取付け間隔(図中A~F寸法)のうちGOT800, A77GOTシリーズより大きくなるのは、A851GOTバス接続, A852GOT CC-Link接続時のF寸法のみです。下記に一覧を示します。  
 なお、マルチチャンネル機能使用時は装着する通信ユニットの厚みを考慮して頂く必要があります。  
 詳細は、GOT1000シリーズ接続マニュアル記載のマルチチャンネルの章をご参照ください。

表5-1 バス接続, CC-Link接続時の奥行き寸法(F寸法)一覧 (単位: mm)

使用しているGOT800シリーズ				代替機種		
GOT形名	接続形態	F寸法	GOT形名	通信インタフェースユニット形名	F寸法	
A851GOT	Aバス接続	62	GT1550-QLBD	GT15-ABUS(2)	77	
			GT1555-QSBD	GT15-75ABUS(2)L		
A852GOT	CC-Link接続	69	GT1550-QLBD	GT15-J61BT13	77	
			GT1555-QSBD			

### 5.2 A64GOTシリーズ

製品取付け間隔の比較表を表5-2に示します。  
 A64GOTでは、一部の定義がない寸法があり、またE寸法, F寸法は、置換え機種のほうが大きいため、置換え時ご確認ください。

表5-2 A64GOTとGT1550-QLBDの取り付け寸法比較表 (単位: mm)

形名	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法	E寸法	F寸法
A64GOT-L/-LT21B	定義なし	定義なし	定義なし	定義なし	51.5	73.5
GT1550-QLBD (MELSECNET/Hユニット装着時)	65	80	50	50	100	77

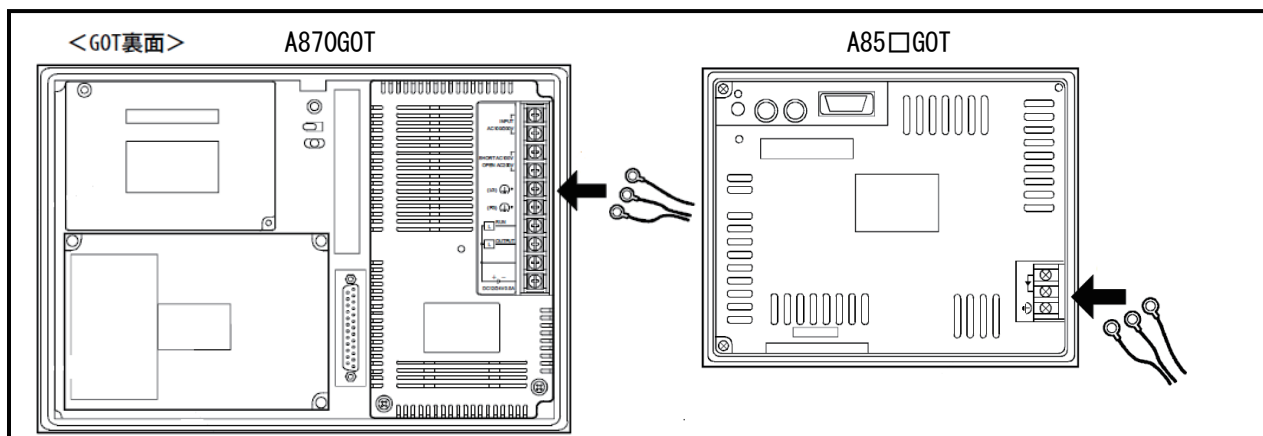
## 6. ケーブルの引き出し方向, PC(CF)カード装着方向

GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズとGOT1000ではケーブルの引き出し方向や位置, PC(CF)カード装着方向に違いがあります。

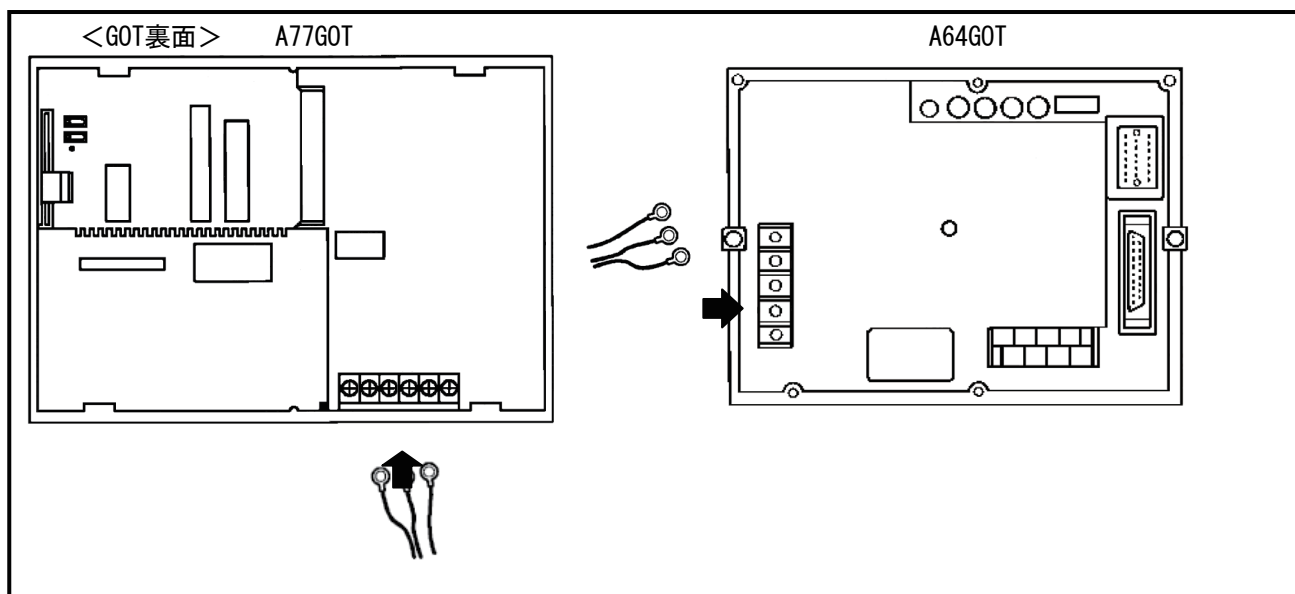
下記にGOT800, A77GOT, A64GOTシリーズとGOT1000シリーズの違いを示しますので, 制御盤に取り付ける場合は, 下記を参考に配線などを行ってください。

### 6.1 ケーブルの引き出し方向および位置

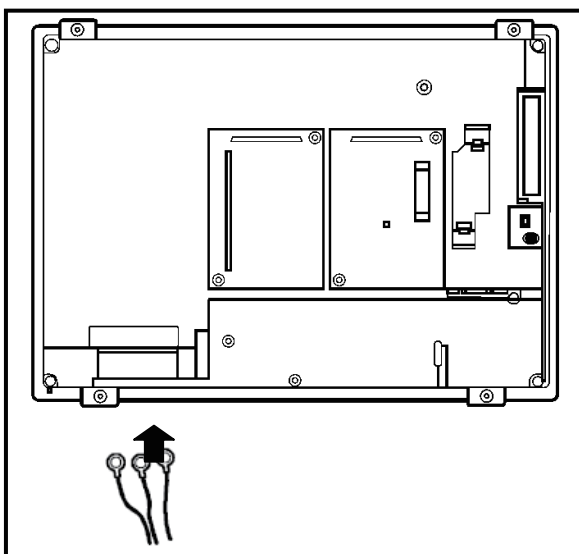
(1) GOT800シリーズ：右側に端子台があります。



(2) A77GOTシリーズ, A64GOTシリーズ：A77GOTは下側に端子台が, A64GOTは左側にあります。

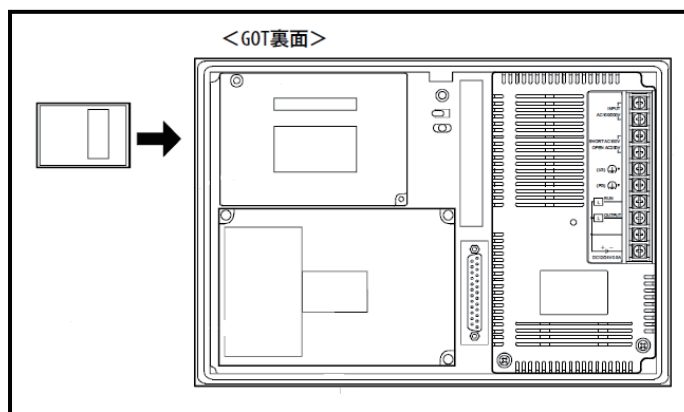


(3) GOT1000シリーズ：下側に端子台があります。

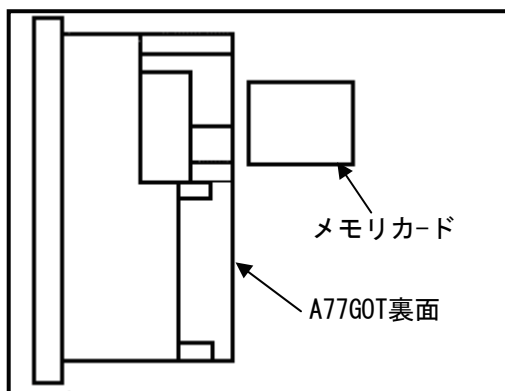


## 6.2 CFカード装着方向

(1) GOT800シリーズ：左側から挿抜します。



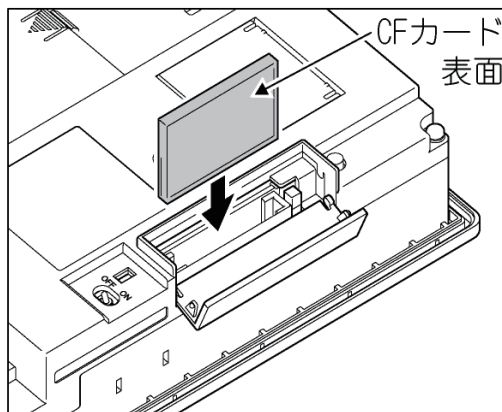
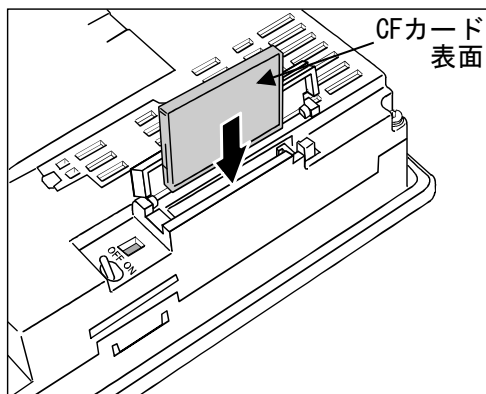
(2) A77GOTシリーズ：裏面方向から挿抜します。



(3) GOT1000シリーズ本体(GT155□, GT115□以外) : 裏面方向から挿抜します。

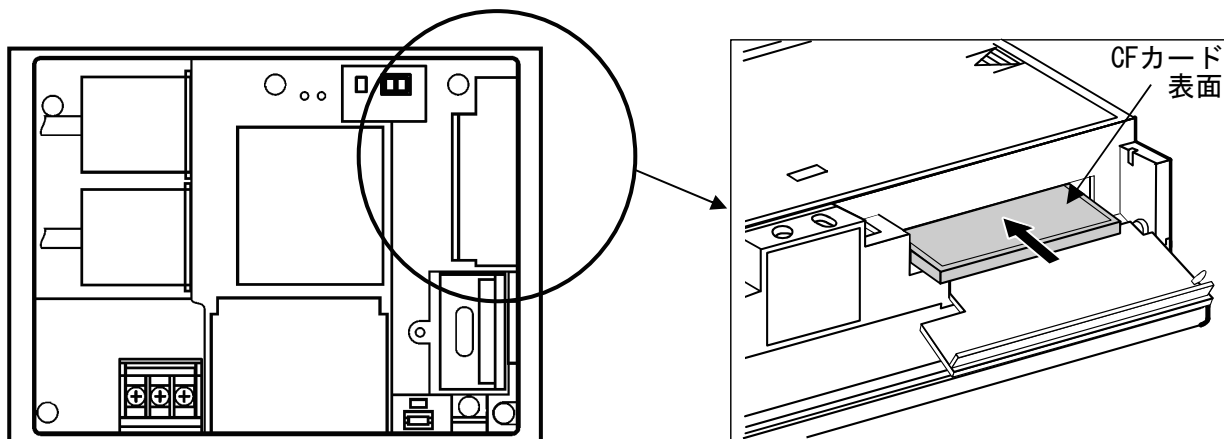
GT15シリーズ

GT16シリーズ



製品取付け時は, CFカードの着脱を考慮し,  
奥行きは100mm以上確保してください。

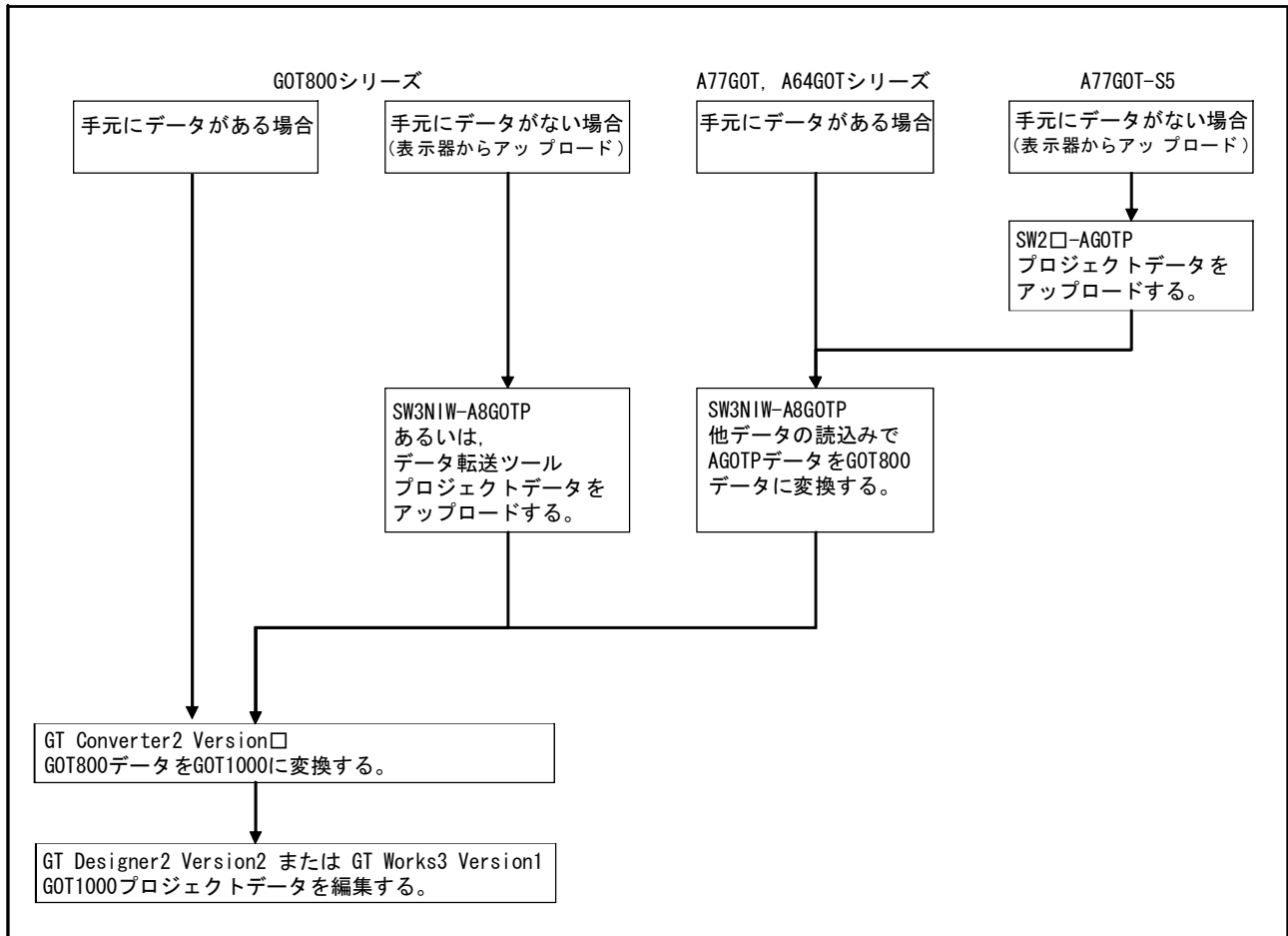
(4) GT155□, GT115□の場合 : 側面方向から挿抜します。



## 7. モニタ画面データ

### 7.1 モニタ画面データの流用

GOT800シリーズ用データ、A77GOT、A64GOTシリーズ用データ、A77GOT-S5用データからのモニタ画面データの流用の流れ



### 7.1.1 GOT800シリーズからGOT1000シリーズへのモニタ画面データの変換方法

GOT800シリーズで使用していたモニタ画面データは、データ変換ソフトウェア(GT Converter2 Version2 またはGT Converter2 Version3)を使ってGOT1000シリーズのデータに変更することで、GOT1000シリーズでもプロジェクトデータなどを流用することが可能です。

データ変換ソフトウェアは、下記のGOT1000シリーズ用作画ソフトウェアに同梱されています。

- ①GT Converter2 Version2
  - ・GT Works2 Version2(SW2D5C-GTWK2)
  - ・GT Designer2 Version2(SW2D5C-GTD2)
- ②GT Converter2 Version3
  - ・GT Works3 Version1(SW1DNC-GTWK3)

#### (1) GOT800シリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

GT Converter2 Version□にてGOT800用データをGOT1000用データに直接変換します。  
変換後のファイルを編集したいときには、GT Designer2 Version□またはGT Works3 Version1で変換後のデータを開いて修正します。

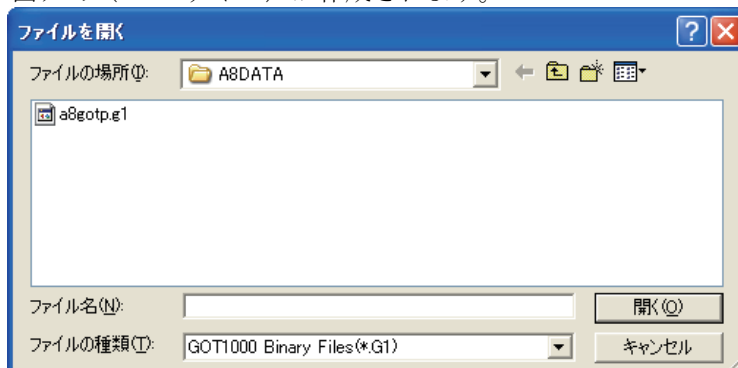
#### 【GT Converter2 Version□の操作】

- ① GT Converter2 Version□を起動します。
- ② 変換したいモニタ画面データのプロジェクトファイルを選択して、変換を開始します。
- ③ 変換が完了したら、ファイル名をつけて保存します。  
※変換後のファイル形式は、“\*.GTE”ファイルではなく、“\*.G1”ファイルで保存されます。  
※GT Converter2 Version□の操作は、下記のマニュアルを参照してください。
  - ①GT Converter2 Version2
    - ・GT Converter2 Version2 操作マニュアル(SH-080512)
  - ②GT Converter2 Version3
    - ・GT Converter2 Version3 操作マニュアル(SH-080848)

#### 【GOT1000シリーズ用作画ソフトウェアでの編集】

##### (a) GT Designer2 Version□での編集

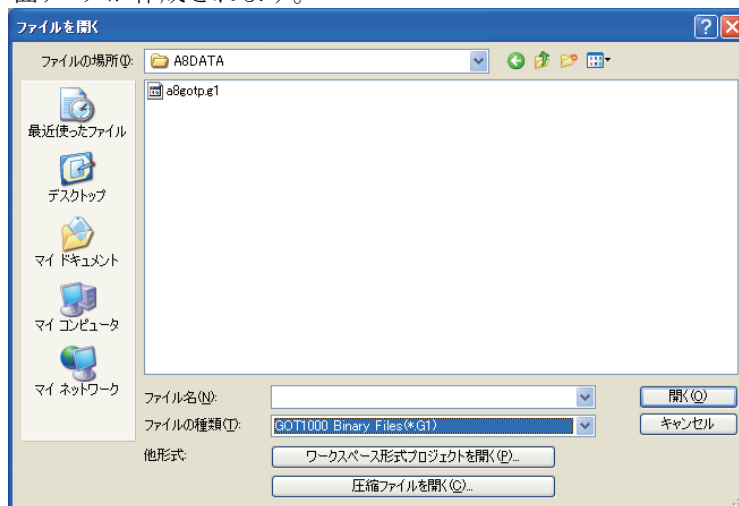
- ①GT Designer2 Version□を起動します。
- ②『プロジェクト』-『開く』を選択します。
- ③『ファイルを開く』ダイアログの『ファイルの種類』で『GOT1000 Binary Files(\*G1)』を選択します。
- ④編集したいファイルを選択して、『開く』をクリックします。
- ⑤任意の編集を実施して、『名前をつけて保存』することで、GOT1000シリーズ用のモニタ画面データ(GTEファイル)が作成されます。



※詳細は、GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル(SH-080509)を参考にしてください。

## (b) GT Designer3 Version1での編集

- ①GT Designer3 Version1を起動します。
- ②『プロジェクト選択』のダイアログから『開く』を選択します。
- ③『プロジェクトを開く』ダイアログで、他形式『GT Designer2/G1形式ファイルを開く』ボタンをクリックします。
- ④『ファイルを開く』ダイアログの『ファイルの種類』で『GOT1000 Binary Files(\*G1)]を選択します。  
編集したいファイルを選択して、『開く』をクリックします。
- ⑤任意の編集を実施して、『名前をつけて保存』することで、GOT1000シリーズ用のモニタ画面データが作成されます。



※詳細は、GT Designer3 Version1 画面マニュアル(共通編) (SH-080836)を参考にしてください。



## (2) GOT800シリーズのモニタ画面データが手元にないとき

GOT800シリーズの本体からのデータをアップロードしたあと、(1)のデータ変換を実施します。

GOT本体からのデータのアップロードは、GOT800シリーズ用の作画ソフトウェアSW3NIW-A8GOTP、またはデータ転送ツール(Data Transfer)を使用することでアップロードが可能です。

※GOT800シリーズ用作画ソフトウェアSW3NIW-A8GOTPの動作環境はWindows3.1およびWindows95です。

※データ転送ツール(Data Transfer)の対応するOSは、下記です。

- ・Windows 2000 Professional
- ・Windows XP Professional/Home Edition
- ・Windows Vista Ultimate/Enterprise/Business/Home Premium/Home Basic
- ・Windows7 Ultimate/Enterprise/Professional/Home Premium/Starter

※SW3NIW-A8GOTPは、弊社ホームページ MELFANSWebよりダウンロード可能です。

データ転送ツールは、GT Works2 Version2およびGT Works3 Version1に同梱、または弊社ホームページ MELFANSWebよりダウンロード可能です。

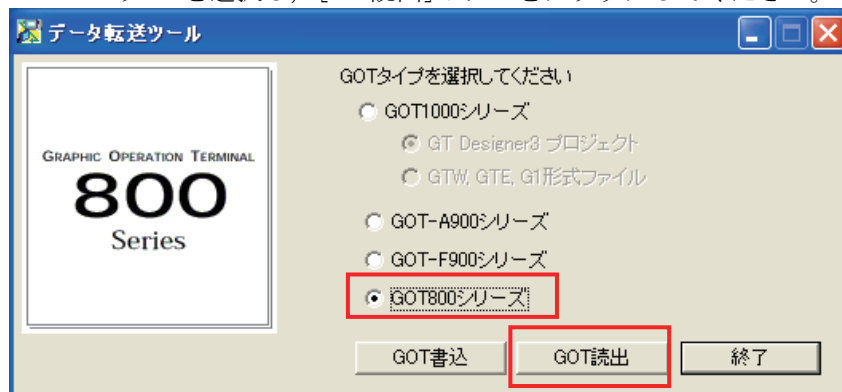
## 【A8GOTPでのデータのアップロードの方法】

SW3NIW-A8GOTP 形作画設定ソフトウェアパッケージオペレーティングマニュアル(データ転送・デバック・ドキュメント作成編)(IB-68914)を参照してください。

## 【データ転送ツール(Data Transfer)でのアップロードの方法】

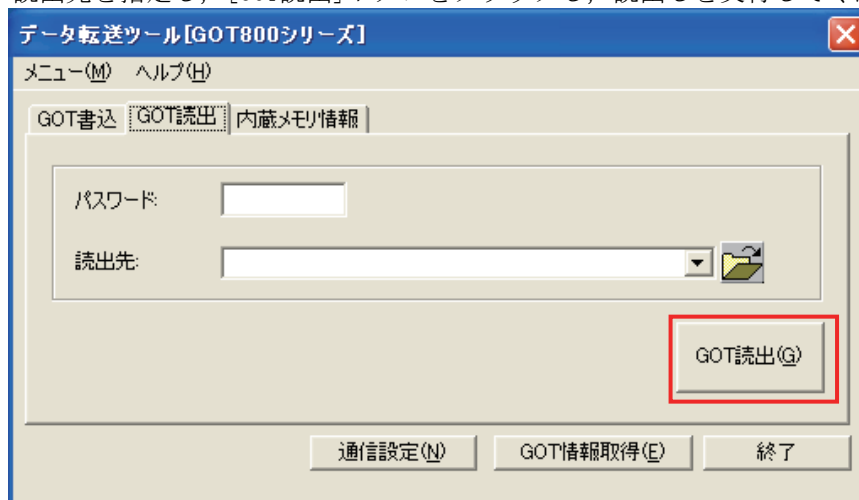
## ①データ転送ツール起動画面

GOT800シリーズを選択し、[GOT読出]ボタンをクリックしてください。



## ②GOT読出画面

読出先を指定し、[GOT読出]ボタンをクリックし、読出しを実行してください。



③読出し後、GT Converter2でGOT1000に変換してください。→7.1.1項(1)参照

### 7.1.2 A77GOT→GOT1000シリーズへの変換方法

A77GOTシリーズで使用していたモニタ画面データは、GOT800シリーズ用の作画ソフトウェア SW3NIW-A8GOTPにて、一旦、GOT800シリーズのデータに置き換えた後、データ変換ソフト(GT Converter2 Version□)を使ってGOT1000シリーズ用のデータに変更することが可能です。

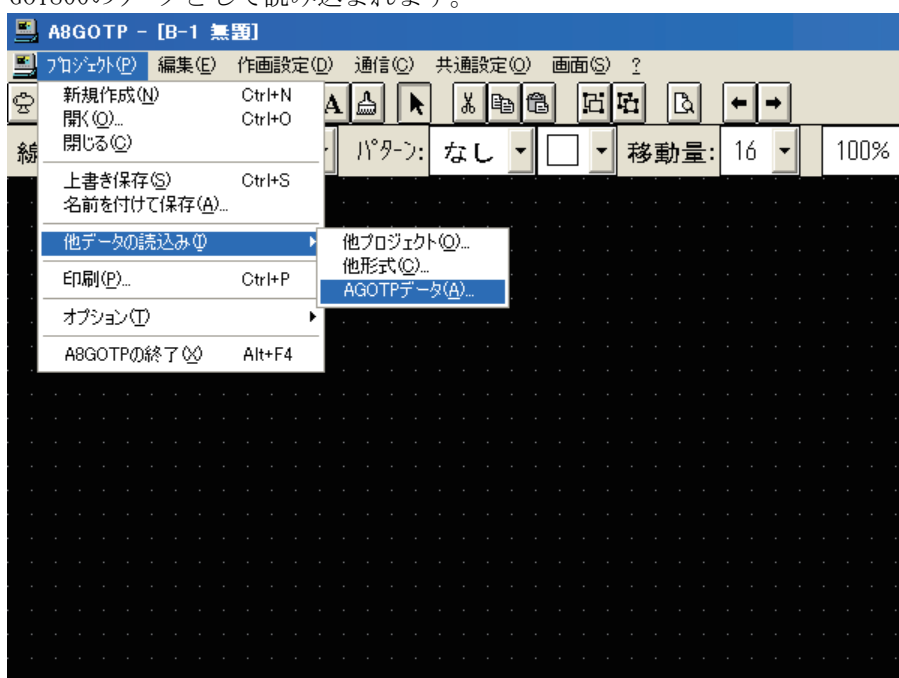
(1) A77GOTシリーズのモニタ画面データが手元にあるとき

A77GOT用のモニタ画面データを、GOT800シリーズ用の作画ソフト SW3NIW-A8GOTP で GOT800 シリーズ用のデータに変換後、GT Converter2 Version□で GOT1000 シリーズ用のデータに再変換してください。

①GOT用の画面データを準備してください。

②W3NIW-A8GOTPで、GOT800シリーズ用のデータに変換します。

A8GOTPにて[プロジェクト]-[他データの読み込み]-[AGOTPデータ]を選択します。  
GOT800のデータとして読み込まれます。



③[プロジェクト]-[名前をつけて保存]により、データを保存します。

④GT Converter2 Version□でGOT1000に変換してください。→7.1.1(1) 参照

(2) A77GOTシリーズのモニタ画面データが手元にないとき

A77GOT本体より、モニタ画面データをアップロードしてから、データの変換を実施します。  
ただし、アップロードが可能なのは以下の条件をともに満たす場合です。

- ・GOT本体がA77GOT-S5であること
- ・データ中に含まれるGOTタイプが「A77GOT-S5」であること

A77GOT-S5以外の機種は、表示器本体からの読み出しは出来ません。パソコン、FDなどに保管してあるデータから置き換えていただくか、GOT1000用に新たに画面データを作成ください。

A77GOT からモニタ画面データのアップロードを実施するには、A77GOT用の作画ソフト(SW2SRX-AGOTP/SW2IVD-AGOTP/SW2NX-AGOTP)が必要です。

①A77GOT-S5からモニタ画面データをアップロードして保存します。

②SW3NIW-A8GOTPで、GOT800シリーズ用のデータに変換した後、GT Converter2 Version□でGOT1000に変換してください。→7.1.2(1)参照

### 7.1.3 A64GOT→GOT1000シリーズへの変換方法

A77GOT用データの場合”と、同様操作にて置き換えます。

- (1) A64GOTシリーズのモニタ画面データが手元にあるとき  
A77GOTと同じ手順で変換してください。 →7.1.2 (1)参照
- (2) A64GOTシリーズのモニタ画面データが手元にないとき  
A64GOTは、表示器本体からの読み出しは出来ません。パソコン、FDなどに保管してあるデータから置き換えていただくか、GOT1000用に新たに画面データを作成ください。

### 7.1.4 データ変換に際しての注意事項

A77GOT, A64GOTのデータを流用する場合、SW□□□-AGOTPで保存したときの状態で部品データが保存されていない場合(部品ファイルをほかのドライブに変更した場合、または部品ファイルのディレクトリを変更した場合は)、部品データを読み込みませんので注意してください。

部品ファイルをほかのドライブに変更したり、部品ファイルのディレクトリを変更している場合は、SW□□□-AGOTPで下記の操作を行ってください。

- ① 作画ソフトに開く従来品GOTデータを読み出す
- ② 部品ファイルを読み出す
- ③ 保存する

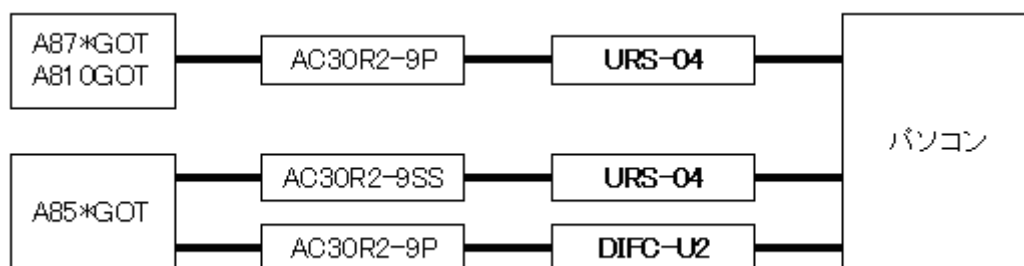
③で保存された従来品データを本操作で指定してください。

### 7.1.5 データ転送ツールとGOT800の通信で使用可能なUSBシリアルアダプタ

データ転送ツールでGOT800シリーズと画面データなどを、ダウンロード/アップロードできることを確認しています。

(接続可能品)

メーカ	機種
ダイヤトレンド(株)	DIFC-U2 (USB/RS-232Cコンバータ)
ブラネックスコミュニケーションズ(株)	URS-04 (USB/シリアルアダプタ)



ケーブル型名	ケーブルピン
AC30R2-9SS	9ピン(メス)-9ピン(メス), AGOT用
AC30R2-9P	9ピン(メス)-25ピン(オス), AGOT用

USBシリアルアダプタは下記のパーソナルコンピュータで動作確認をしております。

- ・Apricot CX

※Windows Vista/Windows7には対応しておりません。Windows Vista/Windows7においてはRS-232ケーブルをご使用ください。

## 7.2 モニタ画面データの互換性

### 7.2.1 データ互換一覧

GOT800, A77GOT, A64GOTシリーズの作画データをGOT1000シリーズの作画データに変換する場合、制約がつく機能や、一部変換できない機能があります。なお、A77GOT, A64GOTについては、一度GOT800シリーズ用作画ソフトウェア (SW3NIW-A8GOTP) を使用してGOT800のモニタ画面データに変換した後、GT Converter2 Version□でGOT1000シリーズ用の作画データに変換する必要があります。GOT1000シリーズへの作画データの変換可否については下記表を参照してください。

表7-1 GOT1000シリーズへの作画データの変換可否一覧

◎：使用可能, ○：使用可能(一部設定変更が必要な場合有り),  
△：変換不可だが再設定で使用可能, ×：使用不可, -：機能なし

機 能	GOT1000シリーズでの 変換後の使用可否			備 考(注意事項)		
	GOT800	A77GOT	A64GOT			
データ 表示機能	数値表示	◎	○※1	○	1/4角文字は1倍に変換されるため、表示サイズを0.5倍に再設定する必要があります。	
	アスキー表示	◎	○※1	○	※1:他のオブジェクト(例：トレンドグラフなど)と重ねている場合、本オブジェクトのレイヤーを「前面」に設定してください。	
	文字列表示	-	○※1	◎	アスキー表示に変換されます。 ※1:他のオブジェクト(例：トレンドグラフなど)と重ねている場合、本オブジェクトのレイヤーを「前面」に設定してください。	
	コメント表示	◎	-	-	-	
	時計表示	◎	○※1	◎	※1:他のオブジェクト(例：トレンドグラフなど)と重ねている場合、本オブジェクトのレイヤーを「前面」に設定してください。	
	アラームリスト表示	◎	○※1	-	※1:他のオブジェクト(例：トレンドグラフなど)と重ねている場合、本オブジェクトのレイヤーを「前面」に設定してください。	
	アラーム履歴表示	◎	-	-	-	
	レベル表示	◎	◎	◎	-	
	ランプ表示	◎	-	-	-	
	パネルメータ	◎	-	-	-	
	部品表示	◎	◎	◎	部品番号を変更しない部品表示設定のみ使用不可。(実質的にあり得ない設定)	
	移動(部品移動)	◎	◎	◎	-	
	軌跡(部品移動)	◎	◎	◎	-	
	エラー警告表示	-	△	△	アラームリスト表示機能で再設定が必要です。	
	ブロック データ表示	数値	-	○	○	複数の数値表示、アスキー表示に変換されます。 1/4角文字は1倍に変換されるため、表示サイズを0.5倍に再設定する必要があります。
アスキー		-	○	○		
データリスト表示	◎	-	-	-		
グラフ 表示機能	トレンド グラフ	スクロール	◎	○	○	1グラフにつき8本まで変換されます。 9~16本のグラフは、新たにグラフの設定が必要です。
		一括	◎	△	△	折れ線グラフ機能の周期トリガで再設定が必要です。
		重書き	-	×	-	GOT1000シリーズには本機能はありません。*
	折れ線グラフ	◎	◎	◎	-	
	棒グラフ	ノーマル	◎	◎	◎	-
		累積	-	×	-	GOT1000シリーズには本機能はありません。
	帯グラフ	-	-	△	統計グラフで再設定が必要です。	
	円グラフ	-	△	-	統計グラフで再設定が必要です。	
	散布グラフ	-	△	△	GOT800シリーズには本機能がありませんので、A77GOT, A64GOTシリーズのデータを変換する場合、GT Desinger2で再設定が必要です。	
スプライングラフ	-	×	-	GOT1000シリーズには本機能はありません。		
データ 入力機能	数値入力	◎	○※1	◎	※1:他のオブジェクト(例：トレンドグラフなど)と重ねている場合、本オブジェクトのレイヤーを「前面」に設定してください。	
	アスキー入力	◎	○※1	◎		

表7-1 GOT1000シリーズへの作画データの変換可否一覧 (つづき)

◎：使用可能，○：使用可能(一部設定変更が必要な場合有り)，

△：変換不可だが再設定で使用可能，×：使用不可，-：該当機能なし

機 能		GOT1000シリーズでの 変換後の使用可否			備 考(注意事項)
		GOT800	A77GOT	A64GOT	
タッチ スイッチ機 能	SET/RST	◎※2	◎	◎	※2:動作を重複して設定しているときは再設定が必要 です。
	反転	◎※2	◎	◎	
	スイッチ	◎※2	◎	◎	
レポート機能		◎	△	-	A77GOTで設定している場合、再設定が必要です。
システム情報		◎	◎	-	-
操作パネル機能		◎	△※3	△※3	※3:再設定が必要です。
アナウンス機能		-	△	-	アラーム履歴表示機能で再設定し、代用可能です。
状態監視機能		◎	-	-	-
タイムアクション機能		-	△	-	GOT800シリーズには本機能がありませんので、A77GOT、 A64GOTシリーズのデータを変換する場合、GT Desinger2で 再設定が必要です。
スナップショット機能、ハードコピー機能		◎	△※4	-	※4:メモリカードデータをパソコンで表示したり、印刷す ることが可能です。(GOT本体では対応せず)
パスワード		◎	◎	-	-
図形 データ	直線、連続直線、長方形、 多角形、円、円弧	◎	◎	◎	-
	塗り込み長方形、塗り込み	○	○	○	塗り込みパターン2は、パターン1に変換されます。
	楕円	○	○	○	32ドット以下の楕円は32ドットに変換されます。 GOT1000作画にてサイズ変更が必要です。
文字 データ	グラフィック	◎	◎	◎	他のオブジェクト(例：トレンドグラフ)と重ねている 場合、文字は必ずオブジェクトより背面となります。
	テキスト	◎	○	-	GOT1000シリーズは、文字表示が高速のためグラフィック 文字に変換されています。 ただし、反転属性のデータは正転に変換されるため、背 景に塗り込み長方形を描画して文字属性を黒に変更す る必要があります。
	外字	-	△	△	シンボル部品で代替可能です。
コメントデータ		○	○	○	コメント番号0は別番号に移動して使用します。
部品データ		◎	◎	◎	-
特殊キー		◎	△※5	△※5	※5:再設定が必要です。
画面切換え		◎	◎	◎	-
プリンタ機種指定		○	○	-	PictBridge対応プリンタおよびシリアルプリンタをサ ポートしています。(NECプリンタ(PC-PRプリンタ)は使用 不可)
バックライトOFF時間設定		○	○	-	GOT1000シリーズ本体で設定できます。
GOT本体の スイ ッ チ 機能	ファンクションキー、 矢印キー(カーソルキー)、 リターンキー、 システムプロテクトスイッチ、 非常停止ボタン	-	×	×	GOTの画面上にタッチスイッチとして作成するか、外部 入出力インタフェースユニットを使用してスイッチを作 成する必要があります。

### 7.2.2 GOT800シリーズとGOT1000シリーズのモニタ画面データの互換性

(1) 互換性に関する注意事項

GOT800 シリーズから GOT1000 シリーズにデータを変換した場合、基本的に上位互換となっておりますが、一部の機能においてシーケンスプログラムや作画データなどの変更が必要になります。シーケンスプログラムや作画データの変更が必要な機能を下記に示します。

表7-2 シーケンスプログラムや作画データの変更が必要な機能一覧

項目	内容	GOT800シリーズからGOT1000シリーズに移行する場合の処置方法																							
部品表示	「描画モード」-「XOR表示」を設定している場合、重ねた図形をグループ化した部品の表示が下記のように異なります。 GOT800シリーズ：グループ化した図形をまとめて一度にXORして表示します。 GOT1000シリーズ：グループ化した図形を重ねた順に1個づつXORで表示します。	システム環境の補助設定で、グループ化した図形をまとめて一度にXOR表示するように設定が必要です。																							
	GOT800シリーズで「描画モード」-「XOR表示」を設定している場合、パターン種8(塗り潰し)で線色とパターン色を同じにすると、GOT1000シリーズでは部品の外側が1ドット小さく表示されます。																								
	GOT800シリーズ(16色の機種)で「描画モード」-「XOR表示」を設定している場合、変換したデータをGOT1000シリーズ(16色の機種)で表示すると、重なった部分の色が暗い色合いになります。(GOT1000シリーズの65536色の機種に表示色を合わせています。)		重なった部分の色が暗い色合いになっても良い場合は、設定を変更する必要はありません。 重なった部分の色を暗い色合いにしない場合は、部品の色を暗い色合いに設定してください。 (部品の色、重なった部分の色のどちらかが、必ず暗い色合いになります。)																						
<p>&lt;例&gt;</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th>使用するGOT</th> <th>図形の色</th> <th>部品の色</th> <th>重なった部分の色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GOT800 (16色)</td> <td>青</td> <td>白</td> <td>黄</td> </tr> <tr> <td>GOT1000 (16色)</td> <td>青</td> <td>白</td> <td>暗黄</td> </tr> <tr> <td>GOT1000 (65536色)</td> <td>青</td> <td>白</td> <td>黄</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th>使用するGOT</th> <th>図形の色</th> <th>部品の色</th> <th>重なった部分の色</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>GOT1000 (16色)</td> <td>青</td> <td>暗白</td> <td>黄</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;左記例の場合&gt;</p>	使用するGOT	図形の色	部品の色	重なった部分の色	GOT800 (16色)	青	白	黄	GOT1000 (16色)	青	白	暗黄	GOT1000 (65536色)	青	白	黄	使用するGOT	図形の色	部品の色	重なった部分の色	GOT1000 (16色)	青	暗白	黄	
使用するGOT	図形の色	部品の色	重なった部分の色																						
GOT800 (16色)	青	白	黄																						
GOT1000 (16色)	青	白	暗黄																						
GOT1000 (65536色)	青	白	黄																						
使用するGOT	図形の色	部品の色	重なった部分の色																						
GOT1000 (16色)	青	暗白	黄																						
部品移動	GOT800シリーズの「部品移動」機能で「部品指定方法」の「間接」を設定している場合、デバイス値が負の数値や、表示範囲外になった時、使用するGOTによって表示が異なります。 GOT800シリーズ：部品を表示しません。 GOT1000シリーズ：部品を表示します。	「部品移動」機能で「間接」を設定していなければ問題ありません。 また、「間接」を設定していても、デバイス値が負の数値や「表示範囲」外にならなければ問題ありません。 デバイス値が負の数値になる場合や、「表示範囲」外になる場合、部品番号を「0」にして「表示範囲」外を設定してください。(「表示部品」の番号を「0」にすることで部品は表示しなくなります。)																							

表7-2 シーケンスプログラムや作画データの変更が必要な機能一覧(つづき)

項 目	内 容	GOT800シリーズからGOT1000シリーズに移行する場合の 処置方法
タッチスイッチ	タッチスイッチの動作を重複して設定している時の優先順位が、使用するGOTにより異なります。 GOT800シリーズ：ワードSET → ビットSET GOT1000シリーズ：ビットSET → ワードSET	タッチスイッチの動作順序変更を変更する必要があります。
システム情報 「変更前、変更後値」	16ビット符号付きBINの数値入力にて、マイナス値を入力すると、システム情報の変更前値、変更後値の値が使用するGOTによって異なります。 例：数値入力する前値：「-1」 数値入力値：「-2」 <GOT800シリーズのシステム情報> 変更前値「0X0000FFFF」 変更後値「0X0000FFFE」 <GOT1000シリーズのシステム情報> 変更前値「0XFFFFFFF」 変更後値「0XFFFFFFFE」	16ビット符号付きBINの数値入力にて、マイナス値を入力しなければ問題ありません。 また、シーケンスプログラムでシステム情報の変更前値を16ビットとして参照している場合は、問題ありません。 シーケンスプログラムでシステム情報の変更前値を32ビットで参照している場合は、下位16ビットを取り出して参照してください。
システム情報 「自動スクリーンセーブ無効信号(b0)、 強制スクリーンセーブ信号(b1)」	GOT1000シリーズは、b1(強制スクリーンセーブ信号：強制的にスクリーンセーブする信号)の動作をb0(自動スクリーンセーブ無効信号：スクリーンセーブを無効にする信号)より優先しました。 そのため、b0、b1が両方ONしている場合、使用するGOTによって動作が異なります。 <b0、b1両方がONした場合の動作> GOT800シリーズ スクリーンセーブで表示が消え、同時にバックライトも消灯します。 GOT1000シリーズ 表示は消えず、バックライトも消灯しません。	強制スクリーンセーブ信号(b1)と自動スクリーンセーブ無効信号(b0)を使用して、バックライトON/OFFをしている場合、シーケンスプログラム等を変更する必要があります。

### 7.2.3 A77GOT, A64GOTシリーズとGOT1000シリーズのモニタ画面データの互換性

A77GOT, A64GOTのデータをGOT1000シリーズへ変換する場合、一度GOT800シリーズのデータに変換した後、GT Converter2 Version□にて、GOT1000シリーズのデータに変換します。  
GOT800シリーズのデータを介すため、データの互換性はGOT800シリーズの互換性に準じます。

### 7.3 新たに設定が必要となる機能

表7-3 新たに設定が必要となる機能

項目	機能	お客様での作業	
共通設定	接続機器設定	FA機器との接続に使用するI/FのCH No., ドライバ, 通信ポーレート等を新たに設定する必要があります。 設定方法の詳細は, 下記マニュアルを参照してください。 ・GT Designer2 Version2 画面設計マニュアル(SH-080509)の3.7節 通信インタフェースの設定(接続機器設定) ・GOT1000シリーズ接続マニュアル GT Works3対応(SH-080838~SH-080841)	
プリンタ	プリンタ機能	PictBridge対応プリンタ	作画ソフトウェアGT Designer2 Version2(Ver2.25B以降)またはGT Works3 Version1(Ver1.00A以降)が必要となります。プリンタユニット(GT15-PRN)が別途必要となります。また, 拡張機能OS「プリンタ」または「プリンタ(PictBridge)」をGOTにインストールする必要があります。
		シリアルプリンタ	作画ソフトウェアGT Works3 Version1(Ver1.15R以降)が必要となります。また, 拡張機能OS「プリンタ(シリアル)」をGOTにインストールする必要があります。
オブジェクト	レポート機能	レポート機能を使用する場合, 上記のプリンタ項目への対応と, 拡張機能OS(レポート)をGOTにインストールする必要があります。	
音声	音声機能	音声機能を使用する場合, 音声出力ユニット(GT15-SOUT)が別途必要となります。また, 拡張機能OS(音声出力)をGOTにインストールする必要があります。	

#### 7.3.1 プリンタ

GOT800, A77GOT シリーズでプリンタをご使用の場合は, 下記の点にご注意ください。

##### (1) プリンタの種類

GOT800 シリーズ, A77GOT シリーズは, パラレルプリンタのみサポートしています。GOT1000 シリーズではPictBridge 対応プリンタおよびシリアルプリンタをサポートしています。したがって, GOT800 シリーズ, A77GOT シリーズから GOT1000 シリーズへ置き換えの際には, プリンタの変更が必要です。GOT1000 シリーズで対応しているプリンタ機種(動作確認機種)は, MELFANSweb のテクニカルニュース GOT-D-0001「GOT1000 シリーズ動作確認機器一覧」を参照ください。

##### (2) 必要となるユニット

###### (a) PictBridge 対応プリンタの場合

プリンタユニット GT15-PRN が別途必要となります。

###### (b) シリアルプリンタの場合

オプションユニットは不要です。GOT 本体の RS-232 インタフェースに接続します。

##### (3) レポート機能

PictBridge 対応プリンタ使用時は, レポート形式に「ロギング改頁」をサポートします。シリアルプリンタ使用時は, レポート形式に「リアルタイム連続」をサポートします。



副番	発行年月	改定内容
A	2008年 2月	・初版発行
B	2008年 8月	・記載内容を追加および誤記を修正した。
C	2008年11月	・記載内容および誤記を修正した。
D	2009年 2月	・GT16シリーズを追加した。
E	2010年 2月	・誤記を修正した。
F	2010年 8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2. GOT本体の機種選定」の内容を修正した。</li> <li>・「3. 通信ユニット・オプション」のプリンタの項目にシリアルプリンタの記載を追加しました。</li> <li>・「4. 1. 2 複数台バス接続時のGOTの置き換え」の記載を見直しました。</li> <li>・「7. モニタ画面データ」の内容を修正した。</li> </ul>
G	2011年 9月	・「4. 1. 1 現在ご使用中のケーブルの活用」の誤記を修正した。

**三菱電機株式会社** 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)

お問い合わせは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒100-8310	東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)	(03) 3218-6760
北海道支社	〒060-8693	札幌市中央区北二条西4-1 (北海道ビル)	(011) 212-3794
東北支社	〒980-0011	仙台市青葉区上杉1-17-7 (仙台上杉ビル)	(022) 216-4546
関東支社	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2 (明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー)	(048) 600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10 (日本生命ビル)	(025) 241-7227
神奈川支社	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1 (横浜ランドマークタワー)	(045) 224-2624
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1 (金沢パークビル)	(076) 233-5502
中部支社	〒450-8522	名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル)	(052) 565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10 (矢作豊田ビル)	(0565) 34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区堂島2-2-2 (近鉄堂島ビル)	(06) 6347-2882
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32 (ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5445
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8 (日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1 (天神ビル)	(092) 721-2247

**インターネットによる三菱電機FA機器技術情報サービス**

MELFANSwebホームページ: <http://www.MitsubishiElectric.co.jp/melfansweb>  
 MELFANSwebのFAランドでは、体験版ソフトウェアやソフトウェアアップデートのダウンロードサービス、GOTのオンラインマニュアル、Q&Aサービス等がご利用いただけます。FAランドのID登録(無料)が必要です。

**三菱電機FA機器TEL, FAX技術相談**

●電話技術相談窓口

※1: 土・日・祝祭日、春期・夏期・年末年始の休日を除く通常業務日  
 ※2: ACサーボ、モーション窓口にて対応します  
 ※3: 春期・夏期・年末年始の休日を除く

対象機種	電話番号	受付時間※1
GOT表示器	GOT1000/A900シリーズなど、MELSOFT GTシリーズ	052-712-2417 月曜～金曜 9:00～19:00
FGOT/DU表示器	GOT-F900シリーズなど	052-725-2271 月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSEC-FX/F	Fシーケンサ全般	052-711-5111
MELSEC-Q/L/QnA/Aシーケンサ	シーケンサ一般(下記以外)	052-712-2578
	ネットワーク、シリアルコミュニケーションユニット	052-712-6607
	位置決めユニット、シンプルモーションユニット ※2	052-712-2579
	アナログ、温調、温度入力、高速カウンタユニット	052-711-0037
	C言語コントローラ/MESインタフェースユニット/高速データロガーユニット	052-719-4557
MELSOFTシーケンサプログラミングツール	電力計測ユニット(QE8口)	052-711-0037 月曜～金曜 9:00～19:00
MELSOFT iQ Works (Navigator)、MELSOFT GXシリーズ、SW□IVD-GPPA/GPPQなど		
MELSOFT通信支援ソフトウェアツール	MELSOFT MXシリーズ、SW□D5F-GSKP/OLEX/XMOPなど	052-712-2370 月曜～木曜 9:00～19:00 金曜 9:00～17:00
MELSECパソコンボード	Q80BDシリーズなど	052-712-2830
MELSEC計装/Q二重化	プロセスCPU、二重化CPU、MELSOFT PXシリーズ	052-712-3079
MELSEC Safety	安全シーケンサ/安全コントローラ	

●FAX技術相談窓口 MELFANSwebまたは、H@SELwebのQ&Aもご利用ください。なお、お急ぎの場合は、お手数ですが、上記電話技術相談窓口までご相談ください。

対象機種	FAX番号	受付時間※1
上記対象機種(電力計測ユニット(QE8口)を除く)	052-719-6762	9:00～16:00(受信は常時※3)
電力計測ユニット(QE8口)	084-926-8340	9:00～15:00(受信は常時※3)

**安全に関するご注意**

本テクニカルニュースに記載された製品を正しくお使いいただくためご使用前に必ず「マニュアル」をよくお読みください。